

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 平成27年1月27日同時配布

平成27年1月27日

国土交通省

国土技術政策総合研究所

河川構造物の長寿命化に資する実験を公開します ～石がぶつかりどれだけコンクリートが掘れるのか～

急流河川の多い我が国において、落差工は、河川の勾配を安定化する重要な河川構造物です。しかし、これらのコンクリート構造物は、出水時に伴い運ばれる礫等により摩耗が進み、構造物の機能維持に課題を有しておりました。

このため、国総研は、これらの長寿命化を図り、効率的な河川の維持管理を行う設計の基準を検討しています。今般、このための実験を公開しますのでご案内いたします。

河川の上流部に見られる流れの速い区間に設置される落差工等のコンクリート構造物は、出水時に流下する速い流れによって運ばれる礫等により摩耗が進み、構造物の機能維持に課題を有しておりました。

このため、国総研は、落差工の機能を維持しながら摩耗量を減らすことにより長寿命化を図り、効率的な河川の維持管理が行えるよう設計の基準を検討しています。今般、石がコンクリート構造物をどれだけ摩耗させるかの実験を公開しますのでご案内いたします。

記

1 日時、集合場所

平成27年1月29日(木) 午後1時～

茨城県つくば市旭1 国土技術政策総合研究所 本館 一階ロビー

2 実験の見学について

kasenken@nilim.go.jp宛 ①長寿命化実験参加希望、②代表者氏名、人数、会社名、
③電話番号、④メールアドレスをご連絡下さい

実験場所には、公共交通機関または普通乗用車でお越し下さい。入構の際には、守衛所にて、受付をお願い致します。

3 試験内容

水中で石をコンクリートにぶつけ、コンクリートがどれだけ摩耗するか調べる。

【その他】 本実験の取材を希望される方は下記メールまでご連絡下さい

問い合わせ先

国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川研究室

室長 服部 敦、主任研究官 中村圭吾、研究官 小林勝也

TEL 029-864-2758 / FAX 029-864-1168 E-mail kasenken@nilim.go.jp

河川の摩耗の現状と実験の概要

○河川での流石による影響（例）

- 河川の上流部では、大粒径の礫の移動が活発に生じ、構造物の摩耗が進みます。
- 流石の衝撃によるコンクリート構造物の摩耗について、**摩耗対策を実施すべき範囲や摩耗量を予測する手法が現在確立されていません**



写真1（全景）水路の床の摩耗状況



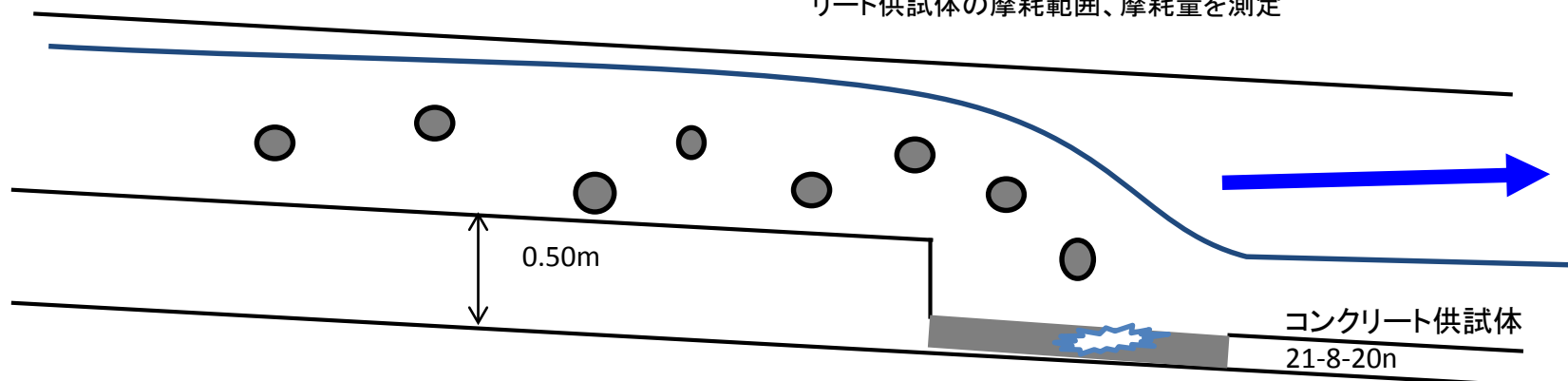
写真2（近景）床版の摩耗状況

○国土技術政策総合研究所内の実験

急流河川の落差工を実験水路上で再現し、水と礫を流して、落差工の下流部の床（水叩き部コンクリート）が、どれだけ掘れるか調べる実験です。

水路コンクリート床板摩耗試験

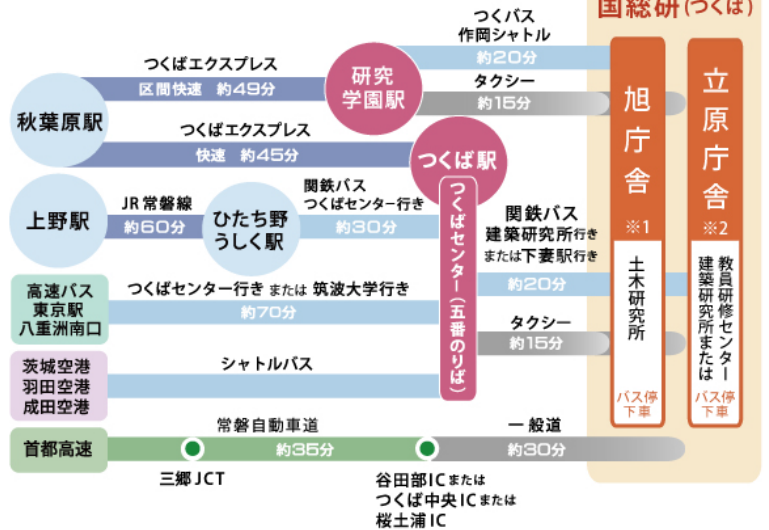
上流から洪水（水流と礫）を流し、落差工下流部のコンクリート供試体の摩耗範囲、摩耗量を測定



位置図 国土技術政策総合研究所内 実験見学会（土木研究所と同敷地内です）



国総研(つくば)への交通のご案内



①守衛所

守衛さんがおりますので、入構票を受け取ってください。

②集合 本館1階ロビー

③現地

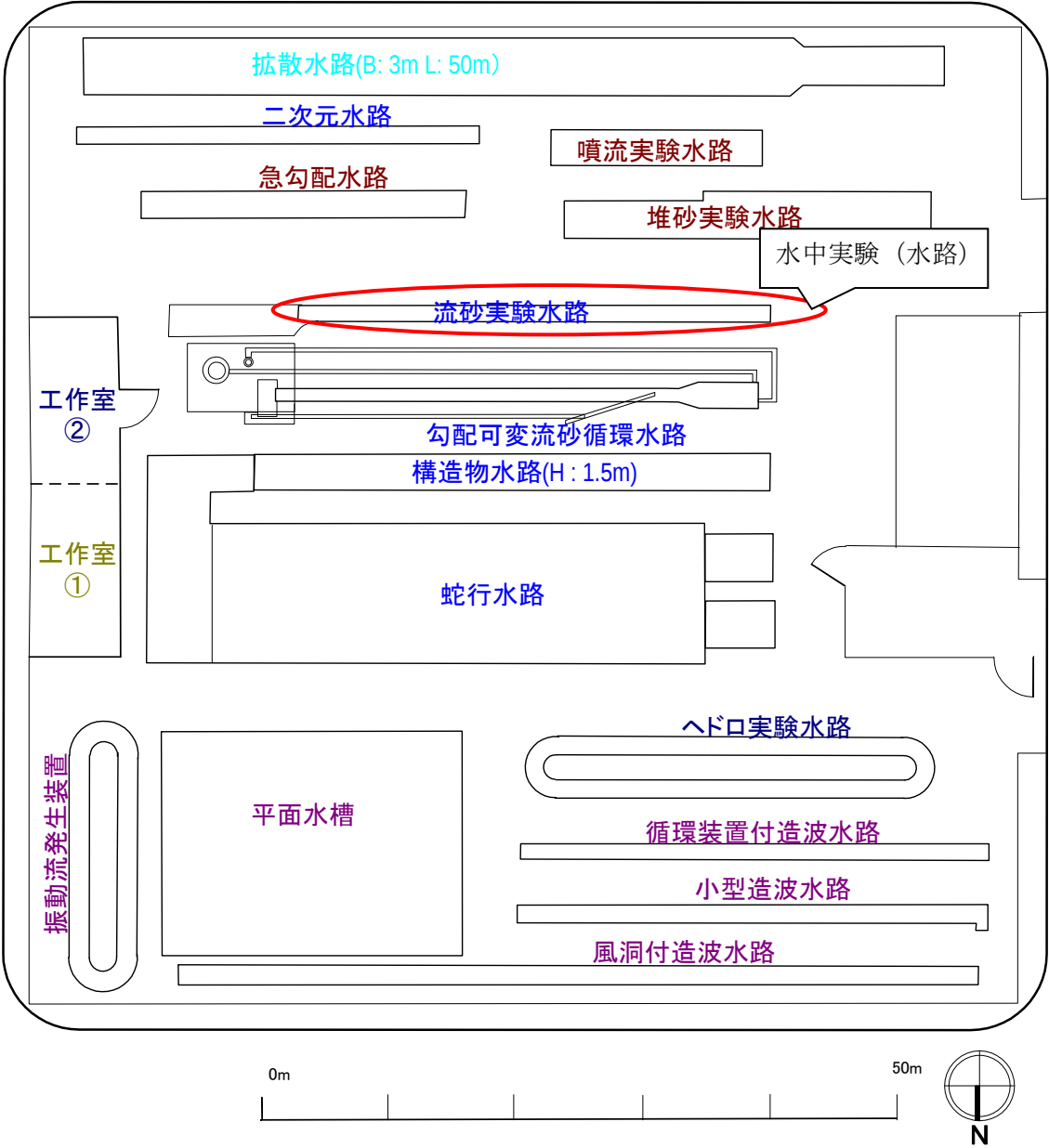
集合場所 : 国土技術政策総合研究所
本館1階 ロビー

住所 : 茨城県つくば市旭1番地

尚、国土技術政策総合研究所敷地内となりますので、事前の入所登録が必要です。必ず期日までにお申し込みください。

又、守衛詰所で用務をご記入頂く際は、「行き先：水理共同実験棟・用務：摩耗実験見学」とお書きください。

位置図（実験棟）



水理共同平面図